みなさんと議会を結ぶ

西和賀町 議会だより

No.34

平成26年4月25日号
発行・岩手県西和賀町議会

3月定例会（3月5～19日）

・鍵飯地区に新火葬場を建設……2P
・新年度の町の方針……5P

そのほか

・病院建設調査の中間報告…18P～19P
・議会だより全国で入賞……21P

夢をつかめ!! 夢にしあがっ児 Vol.20

西和賀高校ソフトボール部

（写真は今年4月7日クラブ練習の様子・関連24P）

3月定例会
主な話題

平成26年度予算
待望の新火葬場建設
新燃焼方式で無煙化

3月定例会は3月5日から19日まで沢内庁舎議場で行いました。平成26年度の予算説明の中で、町長は火葬場建設工事に着手する旨答弁がありました。なお、新しい火葬場は平成27年7月から供用開始予定です。

現在の川尻斉苑火葬場は昭和38年に川尻地区に建設され、現在も火葬業務を行っています。しかし、施設の老朽化や水道が飲用水に適していないことなど不便をかけている状況でした。町では平成25年度に火葬場の設計と用地の確保に取り組み、平成26年度に事業費3億4千万円を計上し建設をすることにしました。新しい火葬場は、沢内鍵飯地区に周辺環境と調和をとりながら建設が進められます。

収骨室

【質疑の内容】

湯澤議員　火葬場の運営は直営にするのか。

町民課長　現在は直営で運営しているが、建物の規模を考え指定管理者などによる運営も視野に入れ検討している。

髙橋(昭)議員　病院の建設でも話題になったが、屋根の構造はどのようになっているのか。

町民課長　雪を上に載せたままとする陸屋根である。雪庇などがどのように発生するのかわからないが、必要に応じて雪庇切りが必要と思っている。積雪荷重は1㎡あたり2m90㎝としているので強度に問題はないと考えている。

髙橋(昭)議員　施設の概要を詳しく説明してほしい。

町民課長　鉄筋コンクリートの一部2階建ての施設で、30人ほど収容できる式場のほか待合室として洋室と和室を各1室ずつ作る。火葬炉は1基設置の予定だ。

髙橋(昭)議員　何らかの事情で、火葬の前に遺体を火葬場に安置しなければならないときは、どのように対応するのか。

町民課長　遺族がいない者や遺族が遠くに居るため遺体を安置する場所が無いなどの事情のときは、新火葬場で火葬するまで1日に限り遺体を安置するという方向でいる。

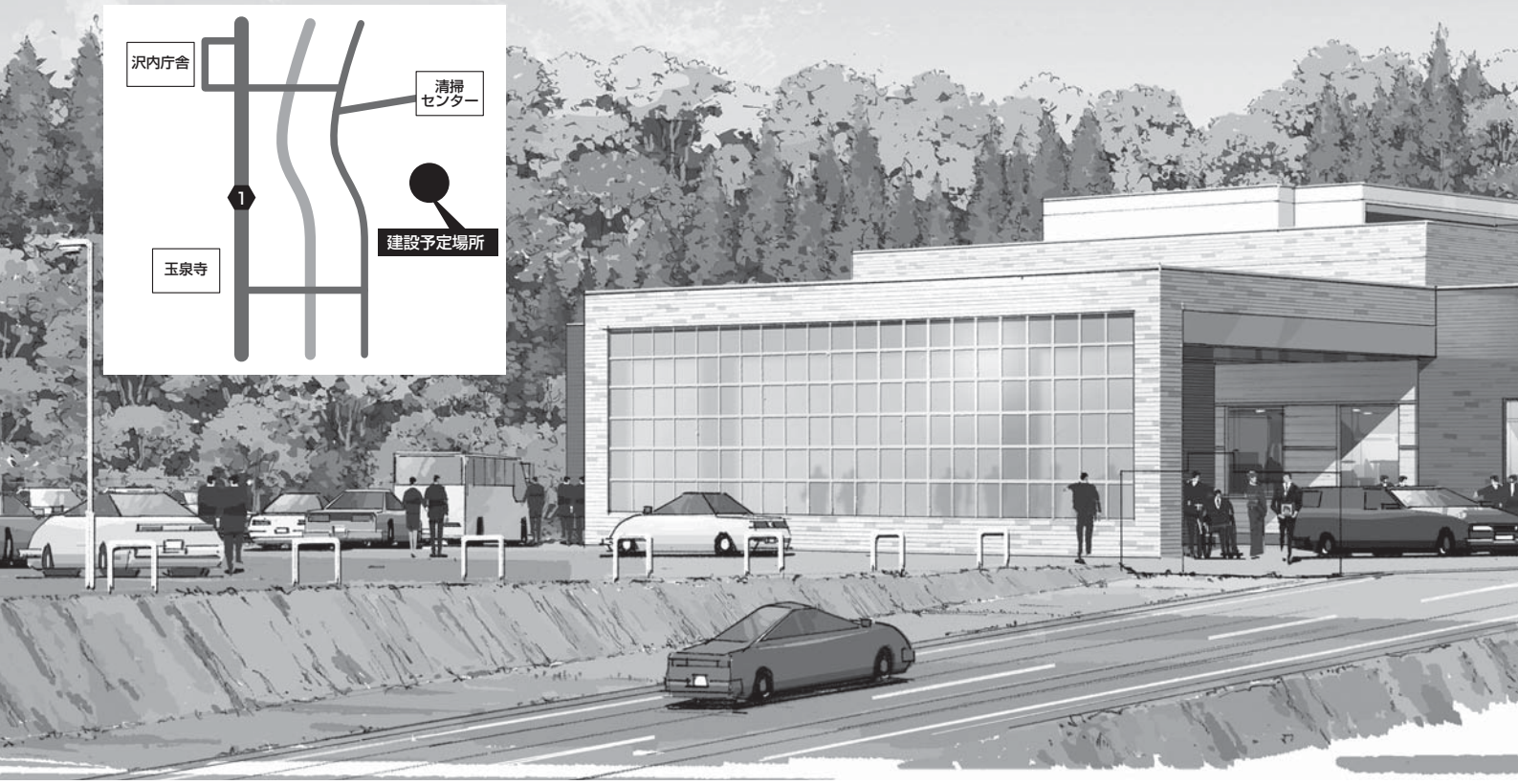
髙橋(雅)議員　最新の火葬炉ということだが、排煙はどうなるのか。

町民課長　火葬炉からは煙は出ないとメーカーから説明を受けている。遺体の損傷が少なく、また、ダイオキシン類の発生も防ぐ燃焼方式を採用している。また、フィルターと触媒を使った除塵装置を取り付けるので、燃や

3月定例会 主な話題　平成26年度予算

ロビー

式場

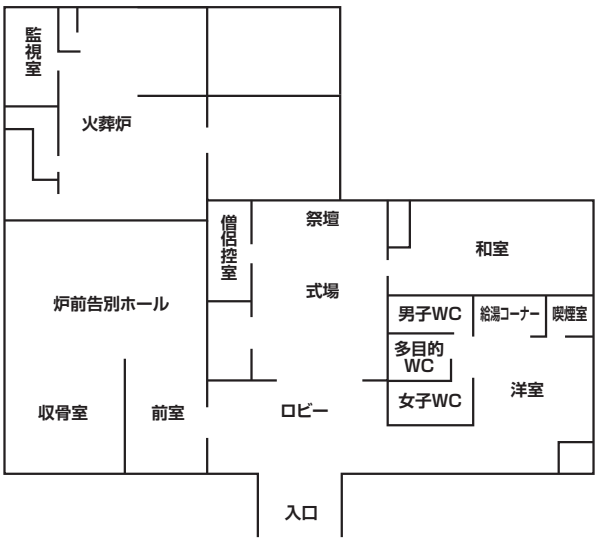


し始めに出る煙も発生しないと聞いている。

髙橋(雅)議員　斎場の臭いはどうか。

町民課長　施設内もタイル張りではなく杉材のパネルを張り付けるので、木材の香りが数年間続く。外に、煙や粉じんは出ないとメーカーから確認している。

新火葬場の見取図



新火葬場の概要

事　業　費	3億4千万円
敷地面積	1万4353㎡
建築面積	565㎡
施設内容	ロビー・告別ホール 収骨室・式場 洋室待合・和室待合 トイレ・多目的トイレ
火　葬　炉	1基
駐車可能台数	一般車両　33台
	大型車両　2台

町長行政報告

新院長の就任内定 豪雪で被害甚大 ほか

現在の病院工事の様子。大雪などの理由により工期が2か月延期され、8月25日になりました。（関連18、19ページ）

●新院長の就任内定

沢内病院の院長に、県立中部病院長の北村道彦さんが内定しました。平成21年4月に県立中部病院長に就任し、岩手中部医療圏の地域医療に尽力されました。沢内病院には4月1日から就任する予定です。

●豪雪で住民生活に影響

2月28日現在で雪に起因する人的被害は、2人が死亡したほか、7人が重軽傷を負いました。停電被害など住民生活に大きな影響がありました。さらに融雪の遅れによる農作物への影響も予想され、町は消雪材の支援を予定しています。

●町除雪車の示談成立

今年の1月に発生した車両の事故で、相手方と示談しました。

1件目は、Uホール屋根からの落雪で、来館者の車を破損した件。2件目は、除雪中に交差点で乗用車と接触した件。

町からの損害賠償は2件あわせ7万8112円で全額を保険金から支払います。

●工事契約を変更

旧川舟小学校解体工事ほか4件の契約変更が必要となり、専決処分しました。

①旧川舟小学校解体工事（10月29日議決）解体に伴う発生材の積込、運搬、処分費等の変更で2445万9100円を増額し、契約額を6千5万4750円としました。

②町道下前小繋沢線道路改良工事（7月8日議決）軟弱地盤への対応や延長の変更などで、2593万8750円を増額し、契約額を9千79万8750円としました。

③八年橋橋梁補修工事（12月20日議決）床板補修工で断面修復などに変更が生じ、247万3800円を減額し、契約額を9千671万7600円としました。

④七内川1号橋下部工工事（8月6日議決）伐根材の運搬処分の追加や河川の水位が高く作業に時間を要するため、2511万5800円を増額し、契約額を8千357万5800円としました。併せて工期の期限を平成26年3月1日から3月28日までとしました。

⑤新病院建設工事（5月31日議決）作業員不足と大雪で作業が遅れ、工期を平成26年6月30日から8月25日までとしました。

●湯田スキー場で事故

1月3日、町営湯田スキー場で70歳代の男性が、滑走中にバランスを崩し防護ネットの支柱に衝突して、左膝の靱帯断裂や骨折等の重傷を負う事故がありました。町では再発防止のため、転落防護ネットの増設と支柱に安全マットを取り付けるなどの対策をとりました。

第25回3月定例会会期日程

（平成26年3月5日～3月19日まで）

月　日	内　容	関連ページ
5日（水）	・諸報告 ・町長施政方針演述 ・教育委員長教育方針演述 ・当初予算議案上程9件 ・議案審議 　条例5件、その他4件	4～5ページ
6日（木）	・議案審議 　補正予算8件、その他2件	10～11ページ
10日（月）	・一般質問 　中村キミイ議員 　児玉正彦議員 　刈田敏議員 　淀川豊議員 　湯澤正議員	12～17ページ
12日（水）～14日（金）、17日（月）～18日（火）	・予算審査特別委員会	6～8ページ
13日（木）	・病院建設調査特別委員会	18～19ページ
19日（水）	・予算審査特別委員長報告 ・病院建設調査特別委員長報告 ・議案審議 　条例1件、その他1件 ・同意2件 ・請願・陳情　新規1件	10～11ページ

①議会の回数は、定例会、臨時会も含めた回数で、議員の任期（4年間）での累計開催数を表します。
②7日、8日、9日、11日、15日、16日は休会しました。
③6日、13日に常任委員会を行いました。

行政報告とは、町長や教育委員長などが町の大きな話題を議会に報告することです。
報告なので、議員は行政報告に対し質問することはできません。

後期計画の2年目
26年度の方針 示される

施政方針とは、町政推進や教育行政推進のための基本的な考え方や主要施策の所信を述べることです。
この所信表明の内容を要約・抜粋しお知らせします。（全文は町のホームページに掲載しています）

「産業・環境・健康、人が輝き 地域の力満ちる町」の実現
町長施政方針演述　細井　洋行

（1）保健・福祉・医療

①「自分の健康は自分で守る」という意識の向上を図ります。
②健康寿命の延伸を図ります。
③町民後見人の養成を引き続き行います。
④職員体制の充実を図ります。
⑤「地域包括ケアシステム」の構築に向け取り組みます。

（2）教育文化領域

①教師が活動しやすい環境整備を進めます。
②「魅力化プラン」を進めます。
③郷土愛を育めるような事業提案をしていきます。
④少人数という利点を活かした学力向上に努めます。

（3）産業

【6次産業】

①「西和賀ＦＡＮ」事業を継続します。
②物産販売と観光客の誘客に取り組みます。
③「西わらび」のブランド確立とポット苗栽培の実証に取り組みます。

【農業・林業・畜産業】

①農家が自主的な農業経営を行うための条件整備を行っていきます。
②農家の経営状況にあった品目栽培ができる整備を進めます。
③各集落が不得手としている事務的な部分を他団体へ委託が可能か検討を進めます。
④林家の意識の高揚を図ります。
⑤栽培普及と契約者育成の可能性について協議を行っていきます。

【観光商工】

①観光協会組織の強化充実を図り発展的改革に着手します。
②旅行業登録を目指し、念願の着地型ツアーを手がけます。
③下前風景林の遊歩道整備と駐車場の増設など、山岳観光への誘客を図ります。
④湯田ダムの観光資源の調査と整備を行い、誘客に踏み込みます。
⑤ハローワークと連携し就労支援の充実を図ります。
⑥利子補給制度を創設し小規模事業者の経営改善を促進します。

（4）生活基盤

①平成27年7月の供用開始に向け、火葬場建設に着工します。
②マイナンバー制度の運用に向け、住民情報システムの改修に取り組みます。
③単身者向け住宅の整備に取り組みます。
④北上線存続に向け具体的な行動を起こします。
⑤将来を見通した地域交通のあり方を検討します。

（5）生活環境

①避難場所の整備計画を進めます。
②地域エネルギーを活用していきます。
③町税や使用料の適正な収納に努めます。

未来を拓き 地域を愛する人を育てる
教育委員長教育方針　深澤　武志

●学校教育

①基礎基本の確実な定着を図り、思考力・判断力・表現力の育成に努めます。
②家庭や地域とともに連携しながら児童生徒の家庭学習習慣の確立を図ります。

●西和賀高校の存続

①生徒一人ひとりが夢の実現に向けて意欲的に学業に励める環境の整備を支援します。
②入学者の確保と地域の将来を担う人材の育成に努めます。

●生涯学習

①出前講座の活用を積極的に進め、町民の自主的な学習の機会を提供します。
②町民大学や高齢者大学などの内容を一層充実させます。
③地域の公民館に出向き、多くの皆さんが参加しやすい環境にします。
④地元学の計画立案や活動に柔軟な支援ができるように「地元学地域活動支援交付金」を創設します。
⑤地域で子供たちを育む活動を推進します。

●芸術・文化の振興

①一昨年成功裏に終えた2回目の町民劇場を平成26年11月の上演に向けて取り組みます。
②豊かな自己表現や協調性の向上に効果的と評価されている中学生やシニア演劇講座を継続して取り組みます。
③芸術文化団体と連携しながら町民文化祭をはじめとした町民の発表の場を提供していきます。

●スポーツ振興

①昨年、熱戦が繰り広げられた高校総体ボート競技を踏まえ、C級公認の錦秋湖ボートコースを充実させ、活用を推進します。
②各種大会や練習を通し町内が盛り上がるよう努めるとともに、児童生徒の体力向上や心身の健康な育成を支援します。
③誰もが気軽にスポーツに親しみ、健康で活力あふれる町づくりにつながる生涯スポーツの推進に取り組みます。

予算委員長報告（まとめ）

今回の審査を通して、議論が交わされた中からいくつか事業をあげて意見をします。

①6次産業は、目に見える形で成果が現われるような取り組みを求めます。

②農業問題は、情報の収集と提供に努め農家の不安を少しでも解消する取り組みを求めます。

③観光は、関係機関との連携を密に的確な情報提供することや湯田ダムなどの地域財産を有効に活用し、観光の誘客につないでください。

④保健や介護は、高齢になっても安心して暮らせる町の実現に向けた取り組みを求めます。

⑤病院建設は、工事が完成するまで細心の注意を払ってください。

これらを参考に予算の執行にあたってください。

平成26年度予算のあらまし

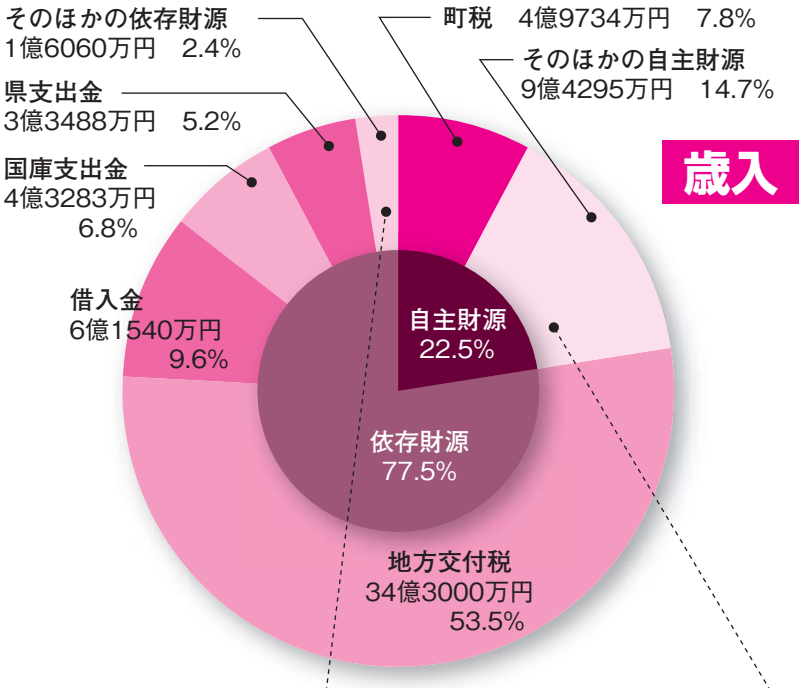
議長を除く議員11人で組織した予算審査特別委員会は5日間に渡り慎重かつ精力的に予算の審査を行いました。定例会最終日の3月19日に早川久衛委員長から『委員会として平成26年度予算を採択すべき』とする審査結果が報告されました。

※本会議での採決の結果、予算はいずれも原案のとおり可決されました。

平成26年度の当初予算は、一般会計予算64億1400万円、8特別会計の合計予算額は47億9940万円で、総額で11億3000万円の減となりました。

一般会計では、昨年度の当初予算と比べ、7億2000万円となりました。また、特別会計では国民健康保険会計、簡易水道事業会計や沢内病院会計の減額になり、全体で18億7483万円の減となりました。

一般会計歳入　64億1400万円



そのほかの依存財源内訳

地方譲与税	7900万円
地方消費税交付金	6600万円
自動車取得税交付金	900万円
ゴルフ場利用税交付金	400万円
利子割交付金	100万円
交通安全対策特別交付金	90万円
地方特例交付金	70万円
配当割交付金	10万円
株式譲渡所得割交付金	10万円

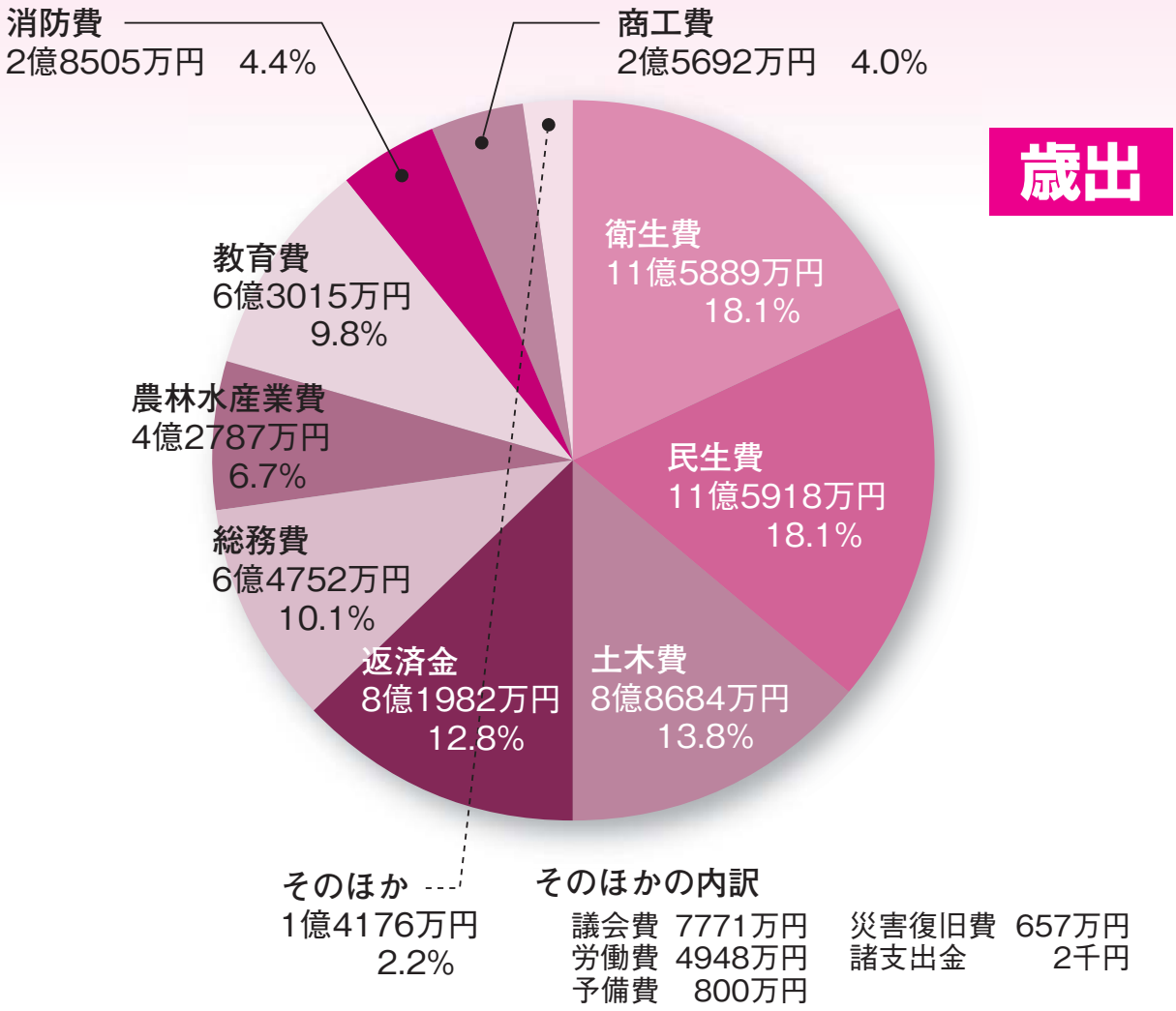
そのほかの自主財源内訳

繰入金	6億853万円
繰越金	8500万円
使用料及び手数料	7621万円
諸収入	6560万円
分担金及び負担金	2710万円
財産収入	373万円
寄附金	1千円

必要性と優先度を見極め予算執行を進めること

（予算額に関し表・グラフ・文中の数字は、端数処理の関係から合計が一致しない場合があります）

一般会計歳出　64億1400万円



そのほかの内訳

議会費	7771万円	災害復旧費	657万円
労働費	4948万円	諸支出金	2千円
予備費	800万円		

【財務状況】

西和賀町の地方交付税は、人口の減少や国の地方交付税を抑える動きから、前年度より5,440万円の減となりました。総務課の試算では、８年後には８億3000万円（21％）の減と見込んでいます。

病院建設にかかる支出は減りますが、火葬場建設や湯田ダム50周年記念事業などの大規模公共事業を控えており、必要性や優先度を見極め効率的な事業運営を行っていくことが求められています。

財政用語解説

▼一般会計とは
町の基本的な行政運営のための経費を中心に計上した会計のこと。

▼特別会計とは
国民健康保険事業のように法律で義務づけられた会計のほか、簡易水道事業などの地方公営企業の経理を明確にするための会計のこと。

▼財源の種類
財源には、町民税や法人税など町が直接集めた自主財源と、地方交付税などのように国などから交付される依存財源があります。

▼地方交付税とは
どの市町村でも同じように行政事務ができるように、国が国税（所得税・酒税・法人税・消費税・たばこ税）の一部を、一定の基準で各市町村に交付するお金のこと。

▼借入金（町債）とは
起債や地方債ともいいますが、町が道路整備などで資金を調達するために国や金融機関から借り入れるお金のこと。

▼返済金（公債費）とは
町がこれまでに借り入れた借金を返済するお金のこと

こんな事業に取り組みます

26年度の主な新しい事業

●低所得者向け臨時福祉給付金支給事業　1475万円

【事業内容】
消費税率の引き上げにより、低所得者の生活への影響を考え、臨時福祉給付金として1万円を支給します。さらに、老齢、障害、遺族各年金や児童扶養手当などの受給者には加算金として5千円を支給します。

●特定不妊治療費助成事業　60万円

【事業内容】
子供に恵まれないため不妊治療を受ける夫婦の経済的な負担を軽くするため、治療費の一部を助成します。

●高下公民館駐車場舗装工事　173万円

【事業内容】
公民館を利用する方々や隣接する産直施設などの観光客に対応し改善を図るため、駐車場を舗装します。

●道路環境整備事業　586万円

【事業内容】
観光客に利用されている町道の道路パトロールや草刈業務を町内の建設業者へ委託するほか、真昼岳登山口につながる道路の整備をします。

●湯田ダム50周年記念事業　730万円

【事業内容】
湯田ダムが完成し50周年となることから、錦秋湖周辺の看板整備や交流会など行うほか、湯田ダムの歴史や和賀川流域の自然など町の魅力を発信するテレビ番組を制作し、観光の町「西和賀」の情報発信をします。

●町道下前小繋沢線防雪柵設置事業　3600万円

左草地内にある防雪柵が30年以上の経過で老朽化し、強風で破損するなど通行に危険な状態のため2年に分けて直します。26年度は設計業務委託と防雪柵を210m直します。

●町民劇場制作事業　434万円

【事業内容】
町民有志が集まり、町の将来像を話し合った内容を基に脚本を作り、町民がキャストやスタッフになり町民劇の上演を行います。

●消防屯所整備事業　1668万円

中村地内にある消防団第1分団第2部消防屯所が老朽化しているため、新築工事を行います。

●文化創造館照明調光装置改修事業　3037万円

【事業内容】
銀河ホールの照明設備のうち、調光装置（調光操作卓）の改修をします。

各会計ごとの歳入歳出予算額の前年度との比較

会計区分		平成26年度予算額	平成25年度予算額	前年度との比較	増減率
一般会計		64億1400万	71億4400万	△7億3000万	△10.2%
特別会計	国民健康保険特別会計	8億6574万	9億5941万	△1億267万	△10.7%
	後期高齢者医療特別会計	7677万	7695万	△18万	△0.2%
	介護保険特別会計	10億8956万	10億6812万	2144万	2.0%
	簡易水道事業特別会計	9億5740万	10億5767万	△1億27万	△9.5%
	下水道事業特別会計	4億3581万	4億1026万	2555万	6.2%
	農業集落排水事業特別会計	5055万	5206万	△151万	△2.9%
	温泉事業特別会計	9080万	8507万	573万	6.7%
沢内病院会計	収益的収支（支出）	8億391万	6億7117万	1億3274万	19.8%
	資本的収支（支出）	4億3786万	15億6352万	△11億2566万	△72.0%
合計		112億1340万	130億8823万	△18億7483万	△14.3%

※△はマイナスを表します。　※表中の金額は、万円未満を切り捨てていますので合計が一致しない場合があります。
※沢内病院会計は、民間事業者などと同様の複式簿記会計を採用していますが便宜上他会計と同様に表示しています。

私たちのくだした判断　第25回3月定例会・議員ごとの賛否状況

※議案順に掲載しています。審議順ではありません。

番号		議案名（一部省略しています）	関連ページ	柳沢安雄	湯澤正	柿澤繁俊	中村キミイ	淀川豊	深澤重勝	髙橋雅一	児玉正彦	刈田敏	早川久衛	髙橋昭貴	佐々木正裕
条例一部改正	1号	道路占用料徴収条例の一部改正	10P～11P	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠
	2号	手数料条例の一部改正		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠
	3号	青少年問題協議会設置条例の一部改正		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠
	4号	社会教育委員条例の一部改正		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠
	5号	簡易水道事業給水条例及び町立公民館条例の一部改正		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠
そのほか	6号	町道の路線廃止		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠
	7号	町道の路線認定		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠
	8号	辺地に係る公共的施設の総合整備計画の変更（下前辺地）		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠
	9号	辺地に係る公共的施設の総合整備計画の変更（左草辺地）		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠
補正予算	10号	25年度一般会計補正予算		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠
	11号	25年度国民健康保険特別会計補正予算		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠
	12号	25年度後期高齢者医療特別会計補正予算		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠
	13号	25年度介護保険特別会計補正予算		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠
	14号	25年度簡易水道事業特別会計補正予算		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠
	15号	25年度下水道事業特別会計補正予算		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠
	16号	25年度温泉事業特別会計補正予算		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠
	17号	25年度国民健康保険沢内病院事業特別会計補正予算		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠
当初予算	18号	26年度一般会計予算	6P～8P	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	19号	26年度国民健康保険特別会計予算		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	20号	26年度後期高齢者医療特別会計予算		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	21号	26年度介護保険特別会計予算		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	22号	26年度簡易水道事業特別会計予算		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	23号	26年度下水道事業特別会計予算		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	24号	26年度農業集落排水事業特別会計予算		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	25号	26年度温泉事業特別会計予算		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	26号	26年度国民健康保険沢内病院事業特別会計予算		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
そのほか	27号	岩手県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の数の増減及び組合規約の一部変更の協議に関する議決	10P	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠
	28号	北上地区障害程度区分認定審査会共同設置規約一部変更の協議に関する議決		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠
条例一部改正	29号	国民健康保険沢内病院事業の設置等に関する条例の一部改正		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
契約	30号	町立病院建設工事請負変更契約の締結		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
同意	1号	教育委員会委員の任命		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	2号	教育委員会委員の任命		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
請願・陳情	1号	要支援者への予防給付を市町村事業とすることについての意見書提出に関する要望書		継続審査											-

表の見方：「○」は賛成、「●」は反対。採決の際の棄権は「棄」、欠席は「欠」、遅刻は「遅」、早退は「早」を表し、「－」は採決に加わらなかったことを表します。また、佐々木議長は賛否が同数などの場合にのみ採決に参加します。これ以外は採決に参加しません。

紙上クイズ　スミからスミまで

空欄に適切なことばをいれてご応募ください。
当選者（３人）には豪華景品を差し上げます!!

問題文

1．今年の４月から「鷲之巣」「耳取」「草井沢」の３つの行政区が一緒になり、「○○○区」になりました。（漢字）
2．平成26年度の予算額は11○億1340万円です。（数字）
3．今年の秋に開院する沢内病院の新しい名称は、「町立○○○さわうち病院」と決まりました。（漢字）

前回号の答え　1．8　　2．不同意　　3．4

【応募方法】
はがきやFAXで、答え、住所、氏名(ふりがな)、年齢をご記入ください。また、議会に対するご要望、ご意見などがありましたら、あわせてご記入ください。なお、匿名での受付はしません。

【応 募 先】
〒029-5692
西和賀町議会事務局「議会だより紙上クイズ」係まで、FAXの場合は0197-81-2008まで

【締め切り】5月12日消印有効とします。

【発　　表】
次回号で当選者（特に断りが無い限り、氏名と地域）を発表します。

【№33の当選者の発表】
髙橋廣巳様・天ヶ瀬、髙橋建男様・上野々、高橋節子様・湯田　おめでとうございます。

3月定例会

このように決まりました

審議の中身

新教育委員に同意　ほか

教育委員2人に同意

同意▼全員賛成

●定数が5人で2人欠員が生じていた教育委員に新たに船田浩さんと加藤和夫さんを互選することに同意しました。任期は4年間で平成26年4月1日から平成30年3月31日までです。

船田　浩さん
（新任・北上市・52歳）

加藤　和夫さん
（新任・新町・60歳）

4月1日に開かれた教育委員会議で船田浩さんは教育長に互選されました。

25年度の補正予算

下記の表のとおり、平成25年度予算を補正し、すべて原案のとおり全員賛成で可決しました。

26年度の予算

額や内容など詳しくは6～8ページをご覧ください。

●一般会計

可決▼全員賛成

▼賛成討論

刈田敏議員

少ない財源の中、町民に十分な行政サービスができない場面があるかもしれないが、必要な事業を優先し確実に実行することが求められると同時に、町民への責任も怠ってはならない。担当課には適確な予算の執行を強く求め、西和賀町がさらに発展していくことを26年度予算に託し、賛成討論とする。

▼賛成討論

高橋昭貴議員

まちづくりの理念実現に向けた取り組みがどう予算に盛り込まれているのか期待していたが、町長が話す職員の人材育成はどうなのか。私は、人材育成はされていても、その人材を活かしきれていないと感じる。また、検診の受診率が低く、改善に取り組むと説明があった。十分に議論を行い地域住民に周知することを期待したい。

新病院が今年の秋に開院する。新院長も決定した。町長や事務長は十分に意思疎通をとり病院運営に取り組んでほしい。

苦言もあるが、この苦言が良薬となることを願い、一般会計予算に対し賛成討論とする。

●国民健康保険会計
可決▼全員賛成

●後期高齢者会計
可決▼全員賛成

●介護保険会計
可決▼全員賛成

●簡易水道会計
可決▼全員賛成

●下水道会計
可決▼全員賛成

●農業集落排水会計
可決▼全員賛成

【表】　今定例会での平成25年度予算補正

項目	現在の予算額	今回補正した額	補正後の予算額	主な内容
一般会計	79億7611万円	5億7844万円	85億5456万円	財政調整積立金4223万円、福祉対策基金積立1501万円ほか
国保会計	9億9537万円	△2596万円	9億6941万円	保険財政共同安定化事業交付金△1715万円、後期高齢者支援金△636万円ほか
後期高齢者医療	7694万円	△90万円	7604万円	後期高齢者医療保険料負担金90万円
介護保険（保険事業勘定）	10億6659万円	1139万円	10億7798万円	施設介護サービス費1139万円ほか
（サービス勘定）	1254万円	△62万円	1191万円	介護予防サービス計画作成依託料62万ほか
簡水会計	10億6139万円	△1億7639万円	8億8500万円	施設統合整備費1763万円ほか
下水道会計	4億1452万円	△165万円	4億1286万円	合併処理浄化槽設置工事△243万円
温泉会計	9564万円	△10万円	9554万円	一般会計の繰り出し13万円
沢内病院会計（収益的収支）	6億6297万円	△329万円	6億6626万円	職員給与199万円、光熱水費129万円など
沢内病院会計（資本的収支）	19億2667万円	1億4453万円	20億7120万円	病院・医師住宅建築工事1億3997万円ほか

※表中の金額は、万円未満を切り捨てていますので合計が一致しない場合があります。
※沢内病院会計は、民間などで採用している複式簿記会計を採用していますが便宜上他会計と同様に表示しています。

○討論とは、各議員が議案に対して賛成、反対の意見を表明することです。

●温泉会計
可決▼**全員賛成**

●沢内病院会計
可決▼**全員賛成**

条例の一部改正

●道路占用料徴収条例の一部改正
可決▼**全員賛成**

国が行う事業の道路占用料は徴収しないことと、今年の4月1日から消費税が現行の5％から8％に引き上げられることから、条例の一部を改正し、料金を値上げします。

●手数料条例の一部改正
可決▼**全員賛成**

砂利採取計画申請の手数料に関し、今年の4月1日から消費税が現行の5％から8％に引き上げられることから、条例の一部を改正し、料金を値上げします。

●青少年問題協議会委員設置条例の一部改正
可決▼**全員賛成**

青少年の健全育成などの政策を検討する青少年問題協議会委員の資格要件を定めました。

●社会教育委員条例の一部改正
可決▼**全員賛成**

生涯学習などの計画をする社会教育委員の委嘱に必要な基準を定めました。

●行政区名の変更
可決▼**全員賛成**

簡易水道事業給水条例と西和賀町立公民館条例の一部を改正し、耳取区、草井沢区、鷲之巣区を統合し**「天ヶ瀬区」**と改めました。

●新病院名を決定
可決▼**全員賛成**

国民健康保険沢内病院事業の設置等に関する条例の一部を改正し、西和賀町国民健康保険沢内病院を**「町立西和賀さわうち病院」**に改めました。

町道の廃止と認定

●町道の廃止
可決▼**全員賛成**

次の町道を廃止しました。

東浦線、下野線、下野支線、小田沢線、清水ヶ野3号線

●町道の認定
可決▼**全員賛成**

次の町道を認定しました。

東浦線、下野線、小田沢線、清水ヶ野3号線、東浦支線、塚根支線

※町道の起点などが変わったときは、いったんその路線を廃止し、改めて認定するという方法がとられます。

変更契約

●病院建設工事変更契約
可決▼**全員賛成**

病院除雪車庫増築などの工事を追加し5千882万7600円増額し、契約額を17億9867万7600円にしました。

辺地計画の一部変更

●下前辺地総合計画
可決▼**全員賛成**

既存の計画に、町道下前小繋沢線の道路改良を追加しました。追加事業費は7800万円です。

●左草辺地総合計画
可決▼**全員賛成**

既存の計画に、町道下前小繋沢線の道路改良と防雪柵設置を追加しました。追加事業費は4750万円です。

みなさんの願い

●請願はありませんでした

●陳情
継続▼**全員賛成**

介護保険要支援者の予防給付を市町村に移行させない要望書

【内容】介護予防サービスの訪問介護と通所介護の給付を、国から市町村に移行する提案に対し、取り下げるよう意見書を出してほしいとの要望です。

【提出者】北上市・小野寺彦宏さん（認知症の人と家族の会　岩手県支部代表）

【継続理由】現状では、まだ制度改正の方向が見えないので、国の動きを見て結論を出すべきことから継続審査としました。

そのほか

●市町村総合事務組合規約の一部変更
可決▼**全員賛成**

県内市町村などの事務の一部を共同で処理する岩手県市町村総合事務組合に加入している岩手中部広域水道企業団が岩手中部水道企業団と名称変更したため、規約を変更しました。

●認定審査会規約の一部変更
可決▼**全員賛成**

町では、障がいの程度を認定する審査会を北上市と共同で設置しています。

障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律の一部が変更されたため、規約の文言を修正したものです。

○請願には議員の紹介（署名）が必要です。議員の紹介のないものは陳情として取り扱います。

事前通告書や会議録は、その都度町ホームページに公開しています
http://www.town.nishiwaga.lg.jp/

ここが聞きたい 一般質問

3月定例会では5人が一般質問しました

中村キミイ 議員

一般質問を終えて
めざそうとする町政が
町民の夢と
重なるように

- 町政について
- 人口減少について
- 農業政策について

児玉　正彦 議員

一般質問を終えて
国の農業政策に、
西和賀町はついて
いけるのかなあ

- 水田農業政策に伴う町の対応
- 指定管理者制度導入後の今後のあり方

刈田　敏 議員

一般質問を終えて
議場で菅原総務課長と
討論するのもこれが
最後かと思うと、
とても寂しい

- 新病院に関して
- ヘリポートに関して

淀川　豊 議員

一般質問を終えて
バランスって
大切だけど、
わかりにくいなぁ

- 新病院建設に関して
- 除雪に関して
- 学力向上に関して

湯澤　正 議員

一般質問を終えて
自分の考えを
訴えるよりも、
町の考えを引き出し
たかったのだが

- 教育委員長演述に関して
- 町長施政方針演述に関して

議会傍聴はどなたでもできます。中座もできますので、時間にしばられることもありません。是非、生の議会をお聞きください。

◆一般質問とは◆

一般質問は、町が行うすべての事務や事業に関して何でも質問できる大事な議員活動の場です。

年4回の定例会のみで、臨時会ではできません。

・質問時間は30分

西和賀町議会では、議員が質問できる時間は30分以内です。答弁に制限時間はありません。

・一問一答方式

質問は、議員と町長が対面し、一つ質問をして一つの回答を得る一問一答方式です。

この方法は、より問題を深められる方法といわれています。

・事前通告

質問したい議員には、前もって質問内容を記した事前通告書の提出を義務づけています。

・登壇順（質問順）

公平をきすために、通告書の届出順にくじ引きをし決定しています。

長原牧場の牛の様子。
本町でもウイルス感染対策のワクチン投与が希望されています。

質問

医師たちが意欲的に仕事をしていただくためには

中村キミイ 議員

町長

医師をサポートするスタッフの充実を図りたい

26年度予算

質問 26年度の予算編成の特徴は何か。

町長 多額なものとして、火葬場の建設に3億4千万円を予算化している。また、様々な農林産物の生産と加工をし、引き続き6次産業と連携し農業の活性化を図り農地の活用を目指していく。

医師の体制

質問 新病院の完成と医師の4人体制が実現できることに町民の期待と喜びは大きいが、医師たちが意欲的に仕事をしていただくための町の考え方は。

町長 常に意思の疎通を図り医療環境を良くしていくことが大事であるとともに、医師をサポートするスタッフの充実を図りたい。

人口動態

質問 人口の減少が進み、30年後には人口が半分になり、高齢者が半数になると予想されているが、町の対応は。

町長 人口減少は全ての産業が停滞するという大きな課題である。その解決策はないにしろ一人ひとりの力の引き出しが必要になると思う。今以上の地域社会の協力体制が求められてくる。そこから生まれるマンパワーを評価して認め合うことが大事と考える。

農業の振興

質問 国の農業政策転換による対応と畜産振興に対する本町の対応は。

農林課長 国の政策転換は本町農業にも大きな影響があり、迅速かつ適正な対応が求められる。本町では農業振興プランを策定し検証しながら次の3年計画を立てているが、国が示す方向と合致していることからその推進を図る。新たな事業に対しても、関係機関と協議しながら必要な部分を生かしていきたい。

畜産振興については飼育農家は減少しているが、子牛の導入事業、畜産ヘルパー事業や労力軽減のための長原牧場も開牧してその推進を図る。

質問 青森県で発生したウイルス感染による呼吸器病で、成牛が多頭数死亡しているが、本町の家畜防疫対策は。

農林課長 畜産農家に大変な不安が広がっていることから本県でも母牛へのワクチン投与が検討されている。本町でも検討協議していきたい。

質問

農地の荒廃に歯止めをかけるには

職員が現場に出向くことが大事

児玉　正彦　議員

西和賀町農業塾の入塾式の様子。
西和賀の農業の活性化が期待されます。

西和賀町の農業と農村振興プラン

質問　農業農村振興プランの取り組みの実績と今後の対応は。

農林課長　町内で設立された集落営農組織機関の連携体制の構築と機械の整備に取り組んだ。大豆、そばの生産から販売まで行なう西和賀大豆、そば生産出荷組合を立ち上げた。大豆生産は平成25年度に6組合で18ヘクタールを栽培している。

質問　西和賀町農業塾の取り組み状況は。

農林課長　平成25年度に本格的に開講し、青年就農給付金の受給者を含む6人が塾生として学んでいる。

質問　農地流動化の推進と遊休農地の再生の取り組みは。

農林課長　3年間で243.1ヘクタールの流動化が進んだ。遊休農地の解消は、作物を作付しない自己保全管理面積が平成22年の254.1ヘクタールから平成25年度は202.9ヘクタールとなっており、3年間で42.3ヘクタール減少した。

質問　個人受託と法人組織の受託面積は。

農林課長　円滑化団体を通して利用権設定した面積は25年までの3年間で243ヘクタール、そのうち個人農家は106ヘクタール、農業法人が137ヘクタールである。

質問　町では自己保全管理水田を遊休農地と解釈しているのか。

農林課長　制度的な部分と解釈の違いがある。町でいろいろな事業を行なうときには、遊休農地と言うのは所謂不作地、作物をつけていないような農地ということで捉えている。

指定管理者制度の今後のあり方

質問　町では諸施設を指定管理者制度導入して管理委託をしているが、委託先の事業主の営業方針のなかに、営業力によって収益をアップする事が難しい施設と位置づけている施設があるが、今後、もっと広く民間力を取り入れてはどうか。払い下げも視野に入れてはどうか。

農林課長　民間会社が考えている施設の運用の方向性と合致する事が前提だ。一つのチャンスとして捉えるべきと思う。

質問

組織の見直しが必要ではないか。

刈田　敏　議員

町長

その体制ありきとは考えていない

町民の命を守る、ドクターヘリ。冬季の離発着場所の調査が必要です。

福祉との連携

質問 新病院について、保健、福祉との連携は。

町長 いろいろな見識を持った院長先生の発言を受け止め新たな保健・福祉・介護を含めた病院の連携を打ち立てていくことの大きなチャンスであると考えている。

質問 院長先生に全てをゆだねていくのか。

町長 連携という共通目標を持って、スタッフが同じ方向に向かって責任を果たしていく。最終的な目標は、住民の健康保持であることを目指している。

質問 新病院に向けて、健康づくりに対しての組織見直しが必要ではないか。

町長 現在各課がそれぞれの分野で仕事をしているが、その体制ありきとは考えていない。

質問 町長の公約の中に官民連携の推進とあるが、その考えは。

町長 町内の医療機関や福祉施設を含めた連携を想定している。新病院と全ての町内医療機関と福祉施設の連携が整って、一緒に出発できることを目標に進みたい。

質問 病気に対する住民の意識をどう高めていくつもりか。

町長 保健師活動の中で取り組む方針を打ち出している。自分たちの日常生活に改善の手があるという指導を進めていくべきと認識している。

病院の財政

質問 病院に対して財政面の考えは。

町長 財政は、年々その内容が変わっていくので、医療だけ特別に考えるというわけにはいかないが、健康な住民を作ることは、行政として責任の深い分野であるから健康保持に対する投資として十分措置されるべきと考える。

ヘリポートの整備

質問 積雪がない季節のヘリポートの状況は。

総務課長 小中学校や高校のグラウンドと公共施設の駐車場など19か所設定している。

質問 積雪があるときはどうしているのか。

総務課長 志賀来ドームの広場と銀河ホールの空き地の2か所を利用している。

質問 冬期間は、もう少し場所がほしいと考えるが。

町長 病院に隣接する形でヘリポートを計画している。冬季は除雪の関係もあるので再度協議しなければいけないと考えている。

総務課長 消防署の話では5、6か所必要と話を聞いている。現状では少ないという認識だ。

冬の町民の足を確保する除雪作業。
26年度の除雪作業に向けて、改善が必要です。

質問

医療機関が密に連携していくシームレス医療実現には

院内に地域医療連携室の設置が必要だ

淀川 豊 議員

シームレス医療実現には

質問 町長の施政方針の保健・福祉・医療領域の中に、新病院の開院に向けてあらゆる医療機関が密に連携し、つぎめのないシームレス医療の実現に向けてスタートするとあるが、具体的にどのようなことか。

病院事務長 院内に地域医療連携室の設置する。そこで他病院や診療所、施設の連携業務を行うほか、患者などが地域や家庭で自立した生活を送れるように、抱えている心理的、社会的な問題の解決や調整を援助し、社会復帰の促進を図る医療ソーシャルワーカーの配置が不可欠と考えている。

学力の向上

質問 町内の小中学校の現状の学力レベルをどのように捉えているか。

学務課長 全国学力調査の結果を見ると、小学校は全国あるいは県平均よりも若干下がっている。中学校は数学で、かなり全国平均、県平均よりも下回っている。中学校では小学校からの基礎的な部分ができていないのが要因だ。

ねばり強く、わかる授業改善を図っていきたい。

質問 今後、小中学校の学力向上は必要か。

学務課長 学力の向上が必要であるとともに、道徳教育など様々なことを学ばなければならない。

どれをとっても非常に大切だと認識している。

質問 明確な目標設定はしてあるか。

学務課長 具体的な目標は県平均を超えたい。全国レベルまでいければ非常によい。

除雪の現状・問題点

質問 現状の除雪作業の問題点を伺いたい。

建設課長 今年度は、1点目、除雪隊員の確保が難しく2人少ない体制であったこと。2点目、降雪量が多く朝除雪に時間がかかり、終了目安の午前7時半までに間に合わない状況だ。

質問 地域除雪として各課が横断的に検討していく新たな体制を整備することが必要ではないか。

町長 冬期間の生活を保障する集落のあり方を、今後は長期的に時間をかけて議論していく必要がある。

質問

新院長とどのようなスタンスで関わるのか

湯澤　正　議員

町長

地域医療に対する考えの実現にむけてサポートしていく

沢内病院の院内研修の様子。
町民の期待に応えられるよう学習の機会を設け、学んでいます。

病院の経営

質問　病院の経営に当たって、町長は新院長とどのようなスタンスで関わっていくのか。

町長　新院長の地域医療に対する考えを実現できるようにサポートしていく。

質問　町民の健康を守るという町長の考えを熱く伝え、理解を深めてもらうような積極的な訴えかけも必要ではないか。

町長　町民の代表として住民の医療ニーズの十分な説明や地域医療の確立に向けた問いかけをしていきたい。

質問　総括看護師長と同補佐のこの一年間の取り組みはどう進んだのか。

病院事務長　町民の期待に応えられる医療サービスを提供できるような、質の高い看護師の育成に向かって少しずつ進んでいる。例えば外来待ち時間の表示や苦情対応や接遇の改善、あるいはマンネリ化しやすい職場にあって日々新鮮に仕事に取り組みレベルアップできるように、教育や院外研修への全員参加・報告会など意識改革を図ってきた。

質問　町長は町民に対して病院にこれからどのように関わって欲しいと思っているか。

町長　生活習慣病由来の疾病がほとんどという町の状況の中で保健・医療・福祉を一体的に「チーム」として進めたいと思っている。町民のみなさんには自分の健康に責任を持ち自分の行動を変えていくような意識改革運動に取り組みたい。

農業と人材育成

質問　農家の経営状況に合った品目の栽培を選択できる条件整備とはどういうことか。

農林課長　農政が大きく変わる中で将来を見越して飼料用米の試験栽培を行うことと、米以外の大豆等土地利用型作物の機械除草体系による収益性の実証栽培を行うこと。

質問　高齢化・後継者難と厳しさを増す農政下、各集落が今最も必要な人材は地域を経営できるリーダーではないのか。その育成こそが課題ではないか。

農林課長　それが一番必要なことである。ただ町が育成というよりも地域の中ではさまざま得意分野を持った人が必ずといってよいほどいるので、それぞれの役割分担をしながら進めてほしい。

& 遅れは全体の2.5%だった

1月17日に設置した病院建設調査特別委員会では、施工業者から参考意見を聞くなどしながら、3月定例会までに3回にわたり新病院工事に関し審査をしてきました。

特別委員会が疑問としていた2事案に関しては、いったん審議を終了したことから、本定例会で湯澤正委員長からこれまでの経過を報告しました。

特別委員会では、新病院完成までの工事の進み具合などを随時確認していく必要があることから継続して状況を見守ることとしています。

疑問な点

①建築図面は2つあったのか？

建築工事を行う際は、建築主事による建築確認申請をしなければ建築できません。この建築確認では、建てようとする建物が各種法に照らし合わせて適正かどうかを判断し、改善が必要であればその指摘部分を修正して建築しなければなりません。

病院建設現場には、建築主事が改善を指摘される前と指摘された後の設計図の2つが存在していました。そのため、施工業者の㈱銭高組は改善を指摘される前の設計図により基礎工事を進めていました。

施工から4か月後になって、指摘前の設計図で施工したことが発覚し、基礎工事を13か所にわたり手直ししました。

なぜ、このような重大な事態が4ヶ月も見逃されてきたのか。

特別委員会を設置し、審査してきたのは新病院建設に関し、次のような疑問点が明らかになり、町当局の答弁もちぐはぐで的を射る回答になっていなかったためです。

湯澤正特別委員長

②工事の直接の遅れは手直しが原因ではないか？

昨年の9月定例会では新病院建設に遅れはないと町から説明がありました。その後、12月になって議員に対する説明会では実は2か月遅れているとの報告がありました。

しかし、この遅れは、余裕を持った工程で、想定の範囲内のため、全体的な工期には影響しないとの報告もありました。

遅れの原因の98％は型枠工事や鉄筋工事など作業を予定どおり確保できないことによると一貫した説明でした。

このことに対し、議員の問い詰めにより、手直し工事が発生したことが発覚しました。

この手直しの占める割合を町は過小評価しているのではないか。

第3回特別委員会で、参考人に状況を確認する委員

なぜ病院建設は遅れたのか

それは 追加資料を見逃した

●本年8月25日完成に

疑問点の①と②とも、設計業者である（株）佐藤総合計画東北事務所と施工業者の（株）錢高組東北支社の担当者から意見を聞いたり、関係資料の確認などで明らかとなりました。

その後、想像を超す積雪により、工事が困難を極め、出来型にも影響することから、当初完成予定を6月30日から工期を2か月延期し、実際には8月25日の完成予定となりました。

追加説明書を見逃した

㈱錢高組東北支社から現場代理人の早貸収（はやかし）さん

指導主事からの改善を指摘された指摘後の設計図は6月21日に現場事務所に引き渡されました。しかし、その場では詳しい説明が行われませんでした。

このことが今回の状況を引き起こしたことの発端ですが、施工者である㈱錢高組が鉄筋の指摘後の変更図面に添付された追加説明書を見逃していたことが原因です。

審査の結果

手直しは2・55%の遅れ

主たる手直し工事である鉄筋工では、手直しに約40日もかかりましたが、これと並行して予定してあった通常の工事を行っていることから、遅れに直接影響を与えた日数は10日間であるとの説明でした。

このため、契約工期の全体に占める割合は2・55%であることが明らかになりました。

㈱佐藤総合計画東北事務所から主任技術者の竹ケ原雄（たけし）さん

病院建設調査特別委員会の審査の過程

1月17日

第24回西和賀町臨時会で、病院建設調査特別委員会を設置することとして、議長を除く議員全員を構成委員としました。

臨時会終了後に第１回病院建設調査特別委員会を開催し、委員長に湯澤正委員を副委員長に刈田敏委員を選任しました。

1月24日

２回目の特別委員会を開催。町から提出された資料では、詳細まで確認するに至りませんでした。そのため、次回には、設計業者の㈱佐藤総合計画東北事務と施工業者の㈱錢高組の担当者に出席を求め、詳細を確認していくことにしました。

2月20日

第３回目の特別委員会では、参考人として出席いただいた㈱佐藤総合計画東北事務所主任技術者の竹ケ原雄（たけし）さん、㈱錢高組東北支社から現場代理人の早貸収（はやかし）さんに疑問点を直接問いました。

建築主事

建築主事とは建築基準法に定められた、建築確認に携わる職員のことをいいます。人口が25万人以上の政令市では設置が義務づけられていますが、西和賀町にはその職は設置していません。そのため、建設課が窓口になり、申請のあった関係書類は役場を経由し、岩手県の建築主事に確認してもらうという手続きを踏んでいます。

建築基準法第４条

１政令で指定する人口25万以上の市は、その長の指揮監督の下に、（中略）確認に関する事務をつかさどらせるために、建築主事を置かなければならない。

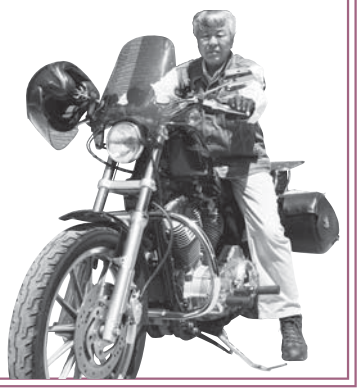
２市町村（前項の市を除く）は、その長の指揮監督の下に、（中略）確認に関する事務をつかさどらせるために、建築主事を置くことができる。

ひゃくじゅついっせいにしかず

百術不如一誠

第十二回

議長　佐々木　正裕



病院名称と病院院長就任決定

病院建設は、町民のみなさんが心配されているとおりですが、町は遅れを取り戻すことに一生懸命努力していると感じます。

3月定例会において、病院の新しい名称が決定しました。新病院の名称は『町立西和賀さわうち病院』です。町民のみなさんには様々なご意見やら想いが錯綜したと感じておりますが、この名称で決着したことは、私としては大変喜ばしいことと思っています。

新病院建設と関連して、前県立中部病院院長、北村道彦先生が4月から新病院の院長に就任しました。県立宮古病院からは千田英之先生が新たに着任し、4月より常勤医3人体制で診療にあたっています。

北村先生は深澤晟雄が提唱した医療と保健が一体化した『沢内方式』を手本とし、地域医療改革に取り組みたいとの抱負を述べています。保健と医療と福祉を一体的に運営し、予防と治療・介護・リハビリを一体化したつぎ目のない『シームレス医療』の実現に向けた意欲に感銘を受けました。

新西和賀方式（北村方式）とでも言いましょうか。この方式の実現に向けて、我々町民も一丸となって院長先生に協力し、新西和賀方式の保健・医療・福祉が確立できれば、保健福祉の町の先進地として見直されることは確実だと信じます。私も含め、町民一人ひとりが、自分自身の健康への意識を高め、わが町の病院運営に強い関心を持ちつつ、町を活性化させるよう努力していこうではありませんか!!

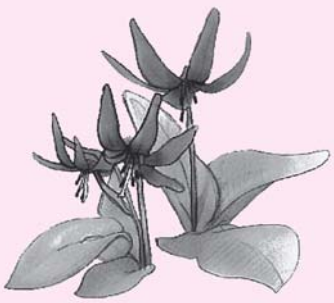
※「百術不如一誠」は、議長の所感などを毎号掲載しています。

議会行動

平成25年12月定例会以降の議会公式行動

1月5日　西和賀町消防出初め式「町内」　議長ほか
11日　西和賀町学校保健研究集会「町内」　議長ほか
12日　交通指導隊・防犯隊合同出動式「町内」　議長
14日　北上地区建設産業団体合同新年交賀会「北上市」　議長
17日　第24回議会臨時会「議場」　議員全員、事務局
ケアホーム「笑く和くハウス」落成祝賀会　議長
18日　交通安全協会湯田支会管内「死亡事故ゼロ2000日達成」記念式典「町内」　議長
19日　西和賀町きらめく女性のつどい「町内」　議長
21日　西和賀町社会福祉大会「町内」　議長
23日　JR東日本に対する要望「盛岡市」　議長
西和賀商工会新春講演会「町内」　議長
2月6日　西和賀町・雫石町両議会議員研修交流会「雫石町」　議員全員、事務局
7日　西和賀農業まつり実行委員会・幹事会「町内」　議長
9日　全国小学生雪合戦大会「町内」　議長
14日　平野達男議員・藤原崇議員訪問「東京都」　議員7人、局長
国土交通省水管理・国土保全局長要望「東京都」　議員7人、局長
西和賀のタベinホテル日航東京「東京都」　議員8人、局長
17日　宮澤啓祐氏国税庁長官表彰受賞を祝う会「花巻市」　議長
西和賀農業塾終了式・研修報告会「沢内庁舎」　議長
22日　沢内クロカンスキー大会、マスターズ大会「町内」～23日　議長
西和賀町森林組合総代会「町内」　副議長
西和賀町森林エネルギー利用促進協議会「沢内庁舎」　副議長
27日　薪で地域を巻き返そうシンポジウム「沢内庁舎」　副議長ほか
3月1日　西和賀高校卒業証書授与式「町内」　副議長ほか
若畑公民館・消防二部屯所落成式及び祝賀会「町内」　議員3人
2日　消防小型ポンプ・積載車入魂式及び更新祝賀会「町内」　副議長

議会内部の会議は省略しています。また、行事名も一部省略しています。



このように使いました

議長交際費をお知らせします

（平成25年12月19日～3月4日までの内訳）

お祝い	1件	1万5千円
会費	8件	3万6千円
お悔み（花輪なども含みます）	0件	0円

議会広報編集常任委員会

議会だよりがコンクールで入賞

受賞を喜ぶ中村委員長と佐々木議長

先ごろ、岩手県町村議会議長会主催の広報コンクールと全国町村議会議長会主催の広報全国コンクールが行われました。

コンクールは、議会だよりの編集技術の向上と紙面内容の充実を図ることなどを目的に毎年実施されています。

西和賀町議会でもコンクールに応募し、県コンクールでは入選第一席（第32号）、全国コンクールでは奨励賞（第30号）を受賞しました。全国入賞は初。

中村キミイ広報編集常任委員長は、「この受賞を励みに、これまで以上に町民のみなさんに親しまれる議会だよりを心がけていきます」と受賞の喜びを話していました。

平成 25 年度（第 32 回）
岩手県町村議会広報コンクール結果

特選	議会だより　かねがさき
入選（１席）	西和賀町議会だより
入選（２席）	しわ議会だより
入選（３席）	やはば議会だより

第 28 回町村議会
広報全国コンクール結果

最優秀賞	金ヶ崎町議会（岩手県）
優 秀 賞	大和町議会（宮城県）など
奨 励 賞	西和賀町議会（岩手県） 川崎町議会（宮城県）など

（全国の結果は、一部のみ抜粋）

西和賀町議会

雫石町議会議員と交流深める

高橋講師は、講演で金次郎が行った財政再建の考え方は、当時は先進的であったと説いていました

２月６日雫石町で、両議会から議員29人が参加し、第２回目となる西和賀町・雫石町両議会議員研修会を行いました。

西和賀町議会と雫石町議会は、隣であるにもかかわらず商圏や生活圏が違うことから交流はありませんでした。しかし、主要地方道盛岡横手線の横軸連携などの必要性から、お互いに情報を交換し、交流を深めるため一昨年から実施しています。研修会場は各町の持ち回りで行っており、今回は雫石会場でした。

研修会では、前西和賀町長の高橋繁さん(雫石在住)を向かえ「むらおこしの先達　二宮金次郎に学ぶ」と題した講演を聴講しました。金次郎が行ったとされる財政再建への取り組みなどの理解を深めました。

西和賀町議会

国土交通省に要望を出しました

国土交通省水管理・国土保全局で渥美河川環境課長に要望する議員団

佐々木議長をはじめとする７人の国土交通省要望団は、細井町長と共に２月14日、国土交通省水管理・国土保全局で要望活動を行いました。同省の河川計画課長や河川環境課長らに対し、湯田ダムを核とした地域振興の要望書を提出しました・

今年は、湯田ダムが完成してから50年目という節目にあたり、町では関係機関の協力をいただきながら様々なイベントを企画しています。

議員団は、あわせて地元選出国会議員の藤原崇衆議院議員と平野達男参議院議員事務所も訪問し、国土交通省要望活動に対する支援を要請しました。

知ってるようで知らない 議会deお勉強!?⑯

今回は

議会の特別委員会とは

関連→18、19ページ

●議会の仕組みや難しい用語をできるだけやさしく説明していきます。

特別委員会って、どんな組織なの？

まずじゃな、委員会を理解する必要があるな。委員会制度は、審議を分野別に分担しあい、より専門的に取り扱うことでより審議が尽くされるようにした制度じゃ。委員会には、常任委員会、議会運営委員会、特別委員会があるんじゃ。

ふ～ん。それで？

まあまあ、急ぐでない。この委員会は、地方自治法により各議会で任意に設置できると定められているから、設置するかしないかは各議会に任せられているんじゃ。委員会は、法的な組織であり、特別委員会の場合は、検査権も付与されるんじゃよ。病院建設調査特別委員会は、この検査権に基づき調査されたんじゃ。

ふ～ん。

西和賀町議会では、以前、小学校を統廃合すべきかどうかを決める時にも特別委員会を設置してきめた。また、予算や決算の際も、膨大な資料を必要とすることから基本的に特別委員会を設置して審議しているんじゃ。今回の病院建設調査特別委員会も、新病院建設に関し疑義が生じ、白黒はっきりさせるために設置して審議したんじゃよ。

（→関連16ページ、No.31平成25年7月12日号16ページ）

シリーズその後を追う㉒

〔このコーナーでは、議員が一般質問などを通して町に問いただしたことが、その後にどうなったかをお知らせします〕

あの課題はどうなった？

念願。ようやく常勤医師3人体制へ

経緯

医師の絶対数や地域間による不足、あるいは診療科目による医師の偏在などは深刻であり、全国的な社会問題となっています。

西和賀町でも例外ではなく、基幹病院である沢内病院でも医師不足は深刻な問題であり、一方で新病院の建設が進んでいることから、多くの町民のみなさんも心配している事項です。

昨年8月には、2人体制だった常勤医のうち、沢内病院副院長兼院長職務代理者の石川清医師が退職し、須原誠医師が唯一の常勤医として、日々激務に追われていました。

議会では

「新病院はできた。しかし、医師はいなかった、では話にならない」、「医師確保はどの程度進んでいるのか」などの声が議員や議会にも寄せられていました。

新病院建設とも関連し、医師確保は大きな問題であり、須原先生の負担軽減のためにも、常勤医師の確保は至上命題となっていました。

あわせて、地域の医療連携も必要になることから、これらに関連して一般質問などを通して町当局に対し発言してきました。

結果

4月1日から、岩手県派遣医師として県立宮古病院に勤務していた千田英之医師（奥州市出身）が着任し、4月2日には、前岩手県立中部病院院長の北村道彦医師（北上市在住）が着任しました。

北村医師は、東北大学医学部を卒業後、国立水戸病院、東北大学医学部第2外科を経て、県立胆沢病院副院長などを歴任しました。その後平成21年4月の県立中部病院の開院と同時に院長に就任し、岩手中部医療圏の地域医療に尽力された方です。

北村先生は、従来の医師を頂点とするピラミッド型の医療体系を見直し、医師、看護師などがチームとして一体となった医療を行う「チーム医療」を目指しています。

同時に、病院と介護など連携し継ぎ目のない「シームレス医療」を目指すとしています。

新病院は、「町立西和賀さわうち病院」と決定しました。→関連11ページ。新病院は今年の8月末に完成し、11月には開院する予定であることから、新病院の立ち上げと同時に念願の医師確保がかないました。

診療を終えて、ひといきつく北村院長。

みなさんと議会を結ぶ
西和賀町 議会だより
No.34

夢をつかめ!! にしわがっ児 Vol.20

西和賀高校ソフトボール部

本コーナーは小中高生のクラブ活動などを紹介していきます

西和賀高校ソフトボール部の部員は２人です。この時期は、グラウンドが積雪で使えません。そのため学校駐車場でのキャッチボールや体育館でトスバッティングや守備練習を中心とした基礎的トレーニングが主になります。同部では他校と一緒に遠征するなどし、今シーズンに向けた練習を重ねています。

※部員数は、4月7日取材時の人数です。

新入部員とともに単独チームを作りたいと話す刈田桜主将と坂本千種部長（２年・北上中出身）

刈田　桜さん
主将　（３年・新町）

昨年10月の新人戦は、金ヶ崎高校・岩谷堂高校との合同チームで出場し、初戦の盛岡第二高に５回コールドで勝ち、２回戦目に強豪校の大東高と対戦し接戦の末、敗れました。

今年は入部してくる新入部員とともに西和賀高校だけで単独チームを組み、昨年果たせなかった高総体で初戦を突破することを目指しています。

千葉賢一監督
（西和賀高校教諭）

今年は、ソフトボールで優秀な成績を修めた中学生たちが本校に進学してくると聞いています。冬期間も一生懸命に２人でできる練習を重ねています。部としては、その新入部員とともに力をあわせ、二人が立てた目標を達成すること。また、部員らが引退するときに『ソフトボールに取り組んで良かった』と思える部活動にしていきたいと考えています。

おなが～く「生涯現役」です (19)

本コーナーは老人クラブの活動などを紹介していきます

天ヶ瀬福寿会　会長
小野寺　政雄（まさお）さん
（72歳・天ヶ瀬）

この４月から会長という大役を任されました。会長の仕事はわからないところが多いですが、会員の皆さんと一緒に考えながら努めていきたいと思います。

現在の会員は35人で文書回覧や行政区内行事のときに入会を勧め、新規会員を募集し会員の拡大に努めたいと考えます。

主な活動内容は、毎月１回行っている耳取地区公民館の清掃、地区の皆さんと一緒に植え付けした花壇の整備や日帰りの研修です。今年は、出前講座を利用し何事も積極的に学んでいきたいと計画しています。

４月からは「耳取」、「鷲之巣」、「草井沢」の３つの行政区が一緒になり「天ヶ瀬区」になりました。会を運営していくうえで様々な問題も発生してくると思いますが、お互いの親睦を深めながら、会員の皆さんと歩調を合わせ、地域に貢献できる会にしていきたいと思います。

ウンダナーサロン後に会について討論をしています。

暫時休憩

窓の外はまだ消えそうのない雪の塊。農作業に影響はないかははなはだ心配だ。

皆さんはご存じだろうか。西和賀町議会だよりが、なんと二つの賞をいただいたことを。私たち編集委員は、常に多くの皆さんに議会だよりを読んでほしいという強い思いがある。時には読者の方からきつい指摘を受けるが、それは次回へのステップだと思い、委員で一層真剣に議論している。私たちは議会と住民をつなぐ情報の要なのだから。

いろいろな賞は不要と思わないが、それよりも私は皆さんからの質問や意見、感想を率直に話してもらうほうが何よりもうれしい。

議会だより担当で精力的に制作に取り組んでいた小林君が人事異動で別の課に移った。見出しのつけ方がとても鋭いと高く評価していたのだが・・・。しかし、私たちはそうも言っていられない。皆さんから進んで読んでもらえる議会だよりを目指しさらに研鑽しないと。

広報編集常任委員会
委員　刈田　敏

【議会だよりは広報編集常任委員会で編集しています】

委員長　中村キミイ
副委員長　淀川　豊
委員　佐々木正裕
〃　髙橋　昭貴
〃　刈田　敏

議会だよりは、過去に発行した分も含めて西和賀町のホームページでご覧いただけます　http://www.town.nishiwaga.lg.jp/

発行日／平成26年4月25日・年4回発行
編集／岩手県・西和賀町議会広報編集常任委員会
印刷／鶴田印刷株式会社・横手市

発行人／岩手県・西和賀町議会広報編集常任委員会　委員長　中村キミイ
〒029-4602
岩手県和賀郡西和賀町沢内字太田2地割81番地1
西和賀町（沢内庁舎）TEL 0197(85)3416 FAX 0197(81)2008

VEGETABLE OIL INK